



問・(市)観光振興課
・(市)文化・スポーツ課 みき歴史資料館 ☎82-5060

▲伝天守台から見た三木のまち

15世紀末頃、三木別所氏の初代当主則治が築城したと考えられる三木城。美嚢川左岸の台地端部に位置し、北西側には美嚢川が流れ、城の背後となる南側には深い谷が入り組んだ地形となっており、敵の攻撃を防ぐのに有利な場所に構えていたとされています。本市には、現在も別所氏の居城三木城を取り囲むように、織田方が築いた複数の付城や土塁が数多く遺存しています。これらは、戦国期の合戦の過程や全容を具体的に把握する上で重要な史跡であることから、「三木城跡及び付城跡・土塁」として、平成25年に国の史跡に指定されました。

今回は、三木合戦の舞台となった三木城跡をはじめ、市内の歴史観光地を案内されている「ガイドボランティアみき」の飯田さんに三木城跡の魅力について話を聞きました。

歩いてたどる、三木の歴史



▲「本丸井戸」
石を投げ込むと「カンカン」と音がすることから、「かんかん井戸」とも呼ばれている



▲ガイドボランティアみきによる案内の様子

三木城跡の魅力は建物が残っていないからこそ、語られる史実に思いを巡らせることができることにあります。また、城の範囲や戦いの舞台となった地形を実際に歩くことで、歴史をより身近に感じることができます。

伝天守台からは三木のまちが一望でき、「この景色が好きで何回も訪れている」と言われる方もいらっしゃいます。さらに、三木城跡の一角からは、かつて平井山に構えられていた秀吉本陣跡を望むことができます。「秀吉側からはどのように見えていたのだろうか」と参加者同士で想像をふくらませながら語り合う時間も、この場所ならではの楽しみのひとつです。ゆっくり歩きながら、目に見えない歴史の痕跡を感じていただき、三木の魅力に触れてもらえたら嬉しいです。



ガイドボランティアみき
飯田里江子さん

5月5日(火)は別所公春まつり！詳しくは、31ページで確認してください。

編集発行：三木市総合政策部秘書広報課 ☎0794-82-2000(代)
〒673-0492 上の丸町10番30号
https://www.city.miki.tg.jp/

広報みきは新聞折込(日刊紙)、宅配でお届けしています(点訳版・音訳版もあり)。新聞未購読の方や点訳版・音訳版をご希望の方は(市)秘書広報課までご連絡ください。

人口(3月末現在) 71,974 (一127)
男: 34,819 (一33)
女: 37,155 (一94)
世帯数: 35,107 (+68)